

高齢化コミュニティの未来を考える八丈島フォーラム2013

テーマ： 島と災害 ―現代の防災に活かす伝統の知恵を探そう！―

趣旨と呼びかけ：

東日本大震災の発生以来、地震、津波、豪雨、台風、火山の爆発など、大災害からどのように人々の命と生活、地域社会を守るか？全国各地で大きな課題として捉えられるようになりました。

特に、島嶼は被害の大きさや全島的な避難、復興の難しさなど、いざ、大災害の発生となれば、多くの問題が差し迫って発生すると予想されており、防災は一段と重大な課題です。しかし、歴史的に振り返ると、島嶼は、台風や疫病の広まりなど、島全体の存亡の危機を何度となく経験してきたところが多く、その危機を巧みに乗り越えた先祖たちの知恵が相応に蓄えられている地域でもあります。防災のための優れた経験知を多々掘り起こし、現代的な意義を明らかにすると共に、未来の世代へと伝承していきたいものです。

ところで、2011年に発生し、今なお続く放射線汚染による災害は、人類史にも稀有なもので、その広がりや世代を超えた影響を阻止するために、どうすればよいのか？大いなる検討が必要な課題です。八丈島への影響も例外ではありません。

こうした課題にどのように取り組むか？地震や台風など、様々な災害を経験しながら、しっかりと乗り越えてきた八丈島の人々の経験知をたくさん掘り起こし、考える機会を設けたいと思います。稀有な罹災経験をお持ちの多くの八丈島の皆さんとそれを受け継ぐ若い世代の方々、関心をお持ちの皆さんのご来場を心よりお待ちしております。

日時： 8月24日（土） 13：00～17：00 ※ 開場： 12：30

会場： 七島信用組合2階

参加費： 無料

主催： 島嶼コミュニティ学会

問い合わせ先： 090-7018-5281（土屋）

090-2539-8755（立柳）

プログラム：

趣旨説明とオリエンテーション（13：00～13：15）

第Ⅰ部 災害をめぐる話題提供（13：15～14：15）

- ① 「八丈島の災害史と島民が培った防災の知恵」 對馬秀子（埼玉医科大学短期大学）
- ② 「放射線汚染と福島県の子どもの育ちをめぐる諸問題」 立柳聡（福島県立医科大学）

休憩（14：15～14：30）

第Ⅱ部 フリートーク“困苦らべ～どんな災害にも粘り強く打ち勝った知恵はこれだ！～”

（14：30～16：30）

稀有な罹災経験をお持ちの多くの八丈島の皆さん。その経験とそこから紡ぎだされた防災の悟りを思う存分語りましょう！

まとめ（16：30～16：45）

参加者交流会（17：30～21：00頃） ※ 任意参加のプログラム。会場当日発表。

近くの別所に会場を移し、お腹を満たしながら、さらに語らいを深めましょう！